

金沢大学 神経内科

年 報

第 4 号

2003 年 1 月～ 2003 年 12 月

金沢大学大学院 医学系研究科 脳医科学専攻 脳病態医学講座

脳老化・神経病態学（神経内科）

目 次

年報第4号の刊行にあたって	1
[1] 出来事・人事異動	3
[2] 診 療	8
[3] 症例検討会・各種カンファレンス	13
[4] 教育活動	17
[5] 業 績	21
[6] 研究助成	57
[7] 施設紹介	59
[8] 大学在籍者名簿	69
[9] 同門会会員	71
編集後記	74

年報第4号の刊行にあたって

昨年の教室の記録を年報としてまとめる時期になりました。2003年（平成15年）はイラク戦争、その後の占領状態と多発するテロ、自衛隊のイラク派遣決定など大きな出来事があり、歴史に記録される年になりました。大学および附属病院は、2003年4月の独立行政法人化、臨床研修必修化などの大きな機構改革を目前に控えた慌ただしい一年でありました。社会においても、大学においても、この年ほど、未来に向かって責任のある、きちんとした展望を持つ必要性が強く認識された年はなかったように思います。

本年報を見ながら2003年の私達の教室の診療、教育、研究の状況を振り返ってみますと、教室内に在籍する医師数はスタッフ5人に大学院生、ローテーション中の研修医まで加え13名でしたが、大学、病院、研究室のパラメディカルや事務職員の方々はもとより、学内外の共同研究者の方々、学生の教育に助けてくださった関連病院の先生方、研究室に他から研究にきてくださっている大学院生など、多くの方々のご協力によって私達の活動は支えられていることが改めて実感され、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

この2004年は、当科にとってまさに正念場であると私は考えております。

この4月から、当教室で活動する医師数は、スタッフ数はかわりませんが、多くの大学院生等が加わり合計20名に達します。それに加えて、研究費ベースの雇用で年間連日勤務していただく研究職、技師、秘書の方々が7名、さらにパートで勤務して下さる臨床心理士さんが数名いらっしゃり、臨床に、教育に、研究に、かつてないパワーを発揮できる体制が整いつつあります。4年前に私が着任した時は、私を含めて教室にいる者は全部で10名であったと記憶しておりますが、もう“マンパワー不足で——”という言い訳はできなくなっていると思います。

昨年までの研究面についての取り組みについてみると、未だ十分成果が上がっているとは言い難い状況にあります。

2004年は、充実した診療と臨床研究を基盤に、研究面でオリジナリティーの高い研究を長期に渡って成し遂げていくためのベースをしっかりと築く年にし

たいと考えております。来年の年報では、是非、各プロジェクトごとの成果や展望を述べるセクションを設けることができるようになればと思います。

先日、内閣府の食品安全委員会による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）/BSE 関連の調査で、英国のエジンバラとロンドンに出張し、変異型 CJD に罹患している若い英国人女性を診察する機会がありました。こうした大きな社会問題となっているような比較的稀な感染性疾患から、高齢化に伴って多発している痴呆や脳血管障害、さまざまな神経難病に至るまで、私達神経内科医に対する社会的ニーズはいよいよ大きくなってきております。社会に貢献できる神経内科をめざして、今後も日々努力を重ねていきたいと存じます。

この年報第 4 号を皆様方に御高覧いただき、一層の御指導を賜わりますことができましたら誠に幸いに存じます。

平成 16 年 3 月

山田正仁

[1] 出来事・人事異動

(1) 2003年医局の出来事

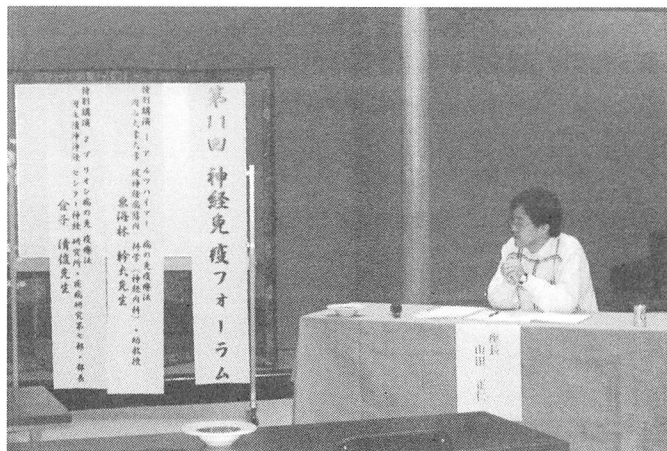
2003年2月8～9日 医局スキーツアー（妙高パインバレー）



医局スキーツアー（妙高パインバレー）

2003年3月18日 医局送別会

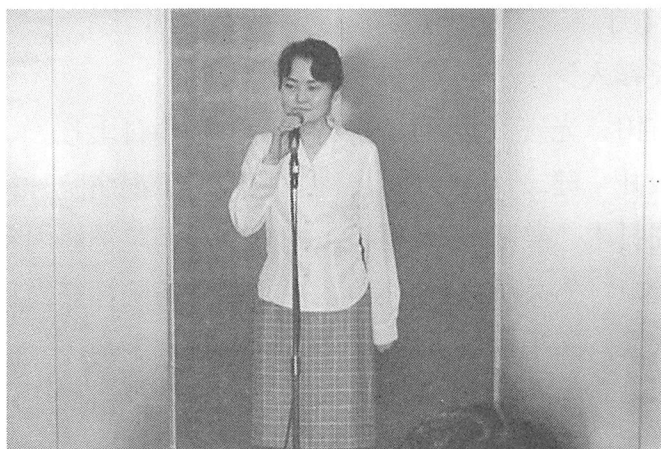
2003年4月19日 第11回神経免疫フォーラム主催
（金沢湯湧温泉 かなや旅館）



神経免疫フォーラム
（金沢湯湧温泉）

特別講演（上）と
懇親会（左）

2003年 4月 25日 新人歓迎会（金沢・全日空ホテル）



新入医局員 大滝先生による挨拶

2003年 5月 16日 金沢大学神経内科同門会（横浜中華街 桃花）
2003年 10月 17日 第4回ニューロサイエンスセミナー（金沢）
英国 CJD サーベランスユニット
Mard W. Head 先生歓迎会
（金沢木倉町 割烹かむら）



Mard W. Head 先生歓迎会（金沢木倉町 割烹かむら）

2003年 10月 25日 神経学会東海北陸地方会（富山）
2003年 12月 13日 金沢大学神経内科同門会・学術集会/総会
2003年 12月 22日 医局忘年会

(2) 大学人事異動

2003年4月

<転入>

吉田 光宏 (助手) : 恵寿病院神経内科より
坂井 健二 (大学院) : 国立療養所犀潟病院神経内科から大学院へ
佐村木 美晴 (大学院) : 国立金沢病院神経内科から大学院へ
野口 もえ子 (大学院) : 福井県立病院神経内科から大学院へ
大滝 美千代 (研修医) : 大阪医科大学卒

<転出>

山口 和由 (助手) : 国立療養所医王病院神経内科医長へ
安川 善博 : 福井済生会病院神経内科から恵寿病院神経内科へ
古井 英介 : 横浜市立脳血管センターから広南病院血管内脳神経外科へ
加藤 裕子 : 黒部市民病院より国立金沢病院へ
町谷 知彦 : 砺波市民病院より公立能登総合病院へ
野崎 一郎 : 市立敦賀病院より福井県立病院へ
柴田 歩 : 富山市民病院より国立療養所犀潟病院へ
森永 章義 : 公立能登総合病院より福井済生会病院へ

2003年5月

山口 ゆかり ; 研究補助員として採用

2003年9月

角田 由美子 : 研究補助員として採用

(3) 2003年 金沢大学神経内科同門会学術集会/総会

日 時 平成15年12月13日(土)

場 所 石川厚生年金会館

I 一般演題 座長 駒井清暢

- 1) 死亡症例検討会—MMNが疑われた運動ニューロン疾患の一例
金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科) 古川裕
国立療養所医王病院神経内科 山口和由

- 2) 可逆的な皮質症状を呈した兄妹例
県立中央病院神経内科 坂尻顕一
金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科） 松本泰子
- 3) 経食道心エコー実施患者におけるストランド陽性症例の検討
国立療養所犀潟病院 神経内科 柴田歩、中島孝、
亀井啓史、會田泉、川上英孝、福原信義
東日本循環器病院 心臓血管外科 榛沢和彦
- 4) 重症筋無力症における治療プロトコール（金沢大学神経内科案）
金沢大学附属病院神経内科 岩佐和夫

II 特別講演 座長 吉川弘明

- 1) 「急性期脳血管障害への T2*強調画像の応用」
広南病院 脳神経外科 古井英介
- 2) 「療養型病院の神経内科」
白十字会 耀光病院 院長 井手芳彦



金沢大学医学部附属病院
新病棟（上）

第2中央診療棟
神経内科医局5F（左）

[2] 診療

(1) 外来実績

2003	月	初診患者数		再来患者数		患者数月計	
		人	前年度比%	人	前年度比%	人	前年度比%
	1	29	72.5	609	90.8	638	89.7
	2	34	106.3	616	91.0	650	91.7
	3	38	100.0	703	94.6	741	94.9
	4	38	95.0	700	99.2	738	98.9
	5	42	105.0	686	95.7	728	96.2
	6	50	98.0	713	94.6	763	94.8
	7	54	125.6	764	98.7	818	100.1
	8	42	107.7	656	92.5	698	93.3
	9	50	113.6	749	98.2	799	99.0
	10	40	100.0	802	99.1	842	99.2
	11	34	94.4	660	104.9	694	104.4
	12	28	93.3	766	111.8	794	111.0
年間合計		479	101.3	8424	97.5	8903	97.7

本年、再来患者数は昨年をやや下まわったが、新患者数は例年通りであった。再来患者数の軽度減少は、病状の落ち着いた症例を地域の開業医、市中病院などに紹介するといった地域連携医療の促進による影響を考えている。一方、医療の専門性分化により、これまででは大学では当科以外でも診療していた脳血管障害について、当科にコンサルトを求める例や無症候性脳梗塞患者の術前コンサルトなど、これまで以上に、他科からの神経学的評価、診療上のアドバイスを求められる傾向があったように思われる。また、病床数の関係上、即日入院が困難で、関連病院の先生方に急に入院加療の御高配を頂くことも多く、関連の先生方の御協力に大変感謝している。専門性のある疾患を大学病院で継続的に診療すべきとの考え方もあるが、長年当院通院中の患者の入院必要時にも、関連病院にお願いすることも多々あり、病床数の少なさ、迅速な対応の困難さなどの点から、治療方針が決定した症例は、医療的、社会的に総合判断し、適切な病院で通院していただく方向が望まれる。

「もの忘れ外来」も順調で、開設以来通院されている方の経過観察、定期的検査もシステム化され、年々、系統的に臨床的情報も蓄積されている。これらの地道な診療、検査が患者の社会的サポート、痴呆の病態解明の一助になることを願っている。また、医局でのもの忘れ会議も月一度定期的に行われているので、関連病院の先生方の御参加、興味深い症

例呈示など、さらなる活性化を期待している。

また、今年度も、週二回、市内関連病院の先生方に外来診療をお手伝い頂いた。教授回診、出張業務、学生教育などの現状から、外来診療応援は不可欠であり、有り難く、ここで心よりお礼を申し上げたい。

最後に、今後も患者様のご紹介、外来診療応援など、関連病院の先生方に御協力頂けるようお願いする次第である。

(外来医長 松本泰子)

(2) 病棟

神経内科病棟は東病棟10階にあり、皮膚科との混合病棟で皮膚科より病床数は、少なく20床である。退院患者の内訳は、以下に示した通りである。脳血管障害患者の入院は、大学病院では元々少ない傾向にあったが、今年は前年とほぼ横這いであった。

退院患者総数は2002年(1月～12月)167例、2003年(1月～12月)163例と、この2年間ほぼ横ばいであった。疾患別の症例数を下表に示した。筋萎縮性側索硬化症をはじめとする変性疾患が多数を占めており、大学病院の特徴を表わしていると考えられる。救急患者の依頼を受けることも多かったが、基本的に皮膚科の病床を借りないで、運営することとなっており、またマンパワーも限られていることから満床の場合は、近隣の関連病院の先生方にご協力を頂いた。この場を借りて御礼を申し上げます。

免疫性神経疾患や感染症では、入院治療が長期化する症例が多く、在院日数の短縮には困難が伴った。病棟の運営は神経内科研修医(卒後1年目)および他科の研修医(内科の卒後1年目)、大学院生と指導医がペアーあるいはチームを組んであたるのを基本とした。来年度より、本格的に入院診療費は、包括化となるが、今のところこれまでと診療内容は、変化していない。今後、効率を求められると思われるが、神経難病は、公費負担であり、具体的な対策は決まっていない。

一般病院でも経験することが多いですが、ここ大学病院も例外でなく、看護師の神経疾患への理解度が低くチーム医療を行うにあたってストレスを感じることが多い。皮膚科との混成病棟であるが看護師への神経疾患の教育が今後の課題である。

(病棟医長 吉田光宏)

<疾患内訳>

脳血管障害:	18例	
脳梗塞		14例
一過性脳虚血発作		2例
脳出血		1例
モヤモヤ病		1例

感染症・炎症性疾患： 16例

髄膜炎	5例 (細菌性 1例, 結核性 1例, ウイルス性 3例)
脳炎	2例
Creutzfeldt-Jakob病	2例
急性小脳炎	2例
Tolosa-Hunt 症候群	1例
HTLV-1-associated myelopathy	1例
帯状疱疹後脊髄根炎	1例
肥厚性硬膜炎	2例

変性疾患： 35例

アルツハイマー型痴呆	4例
筋萎縮性側索硬化症	7例
球脊髄性筋萎縮症	1例
Parkinson病	6例
進行性核上性麻痺	4例
皮質基底核変性症	3例
多系統萎縮症	2例
びまん性Lewy小体病	1例
その他のパーキンソニズム	2例
Machado-Joseph病	1例
Spinocerebellar ataxia 6	2例
家族性痙性対麻痺	2例
晩発性小脳皮質萎縮症	1例

筋疾患： 18例

筋ジストロフィー	1例
多発筋炎	2例
重症筋無力症	8例
周期性四肢麻痺	4例
高CK血症	1例
筋痙攣	1例
ミオパチー (原因不明)	1例

末梢神経障害： 13例

Guillan-Barré症候群	4例
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	2例
血管炎性ニューロパチー	2例
その他の末梢神経障害	5例

内科疾患に伴う神経疾患： 8例

ビタミン欠乏症	2例
---------	----

ベーチェット病 1例
 抗リン脂質抗体症候群 1例
 顕微鏡的多発血管炎 1例

脱髄性疾患： 14例
 多発性硬化症 18例
 急性散在性脳脊髄炎 2例

てんかん： 2例

脳腫瘍： 1例

その他： 14例
 2-OH glutaric aciduria 1例
 前庭神経炎 1例
 Cowden病 1例
 転換性障害 1例
 頸椎症 2例
 血球貪食症候群 1例
 迷走神経反射 2例
 頭部外傷後遺症 1例
 放射線脊髄症 1例
 その他の脊髄症・痙性対麻痺 2例
 その他の精神疾患 1例

(3) 生検

2003 年疾患うちわけ (臨床診断疑い病名を含む)

筋生検	多発筋炎	8 例
	皮膚筋炎	3
	封入体筋炎	1
	ミトコンドリア脳筋症	4
	筋萎縮性側索硬化症	1
	脊髄性進行性筋萎縮症	2
	肢体型筋ジストロフィー	3
	筋けいれん	1
	眼筋喉頭型筋ジストロフィー	1
	パラミオトニアを伴う周期性四肢麻痺	1
	サルコイドーシス	1
	筋ジストロフィー保因者	1
	ビタミンB1欠乏	1
	低換気症候群	1
	Small fiber neuropathy	1

	シェーグレン症候群に伴う神経障害	1
	詳細不明のミオパチー・ニューロパチー	3
	結節性動脈炎	3
	慢性炎症性脱髄性末梢神経炎	2
	肥厚性硬膜炎	1
	自律神経感覚運動神経障害	1
神経生検	慢性炎症性脱髄性末梢神経炎	3
	自律神経感覚運動神経障害	1
	ビタミンB1欠乏	1
	アミロイドーシス	2
	Small fiber neuropathy	1
	シェーグレン症候群に伴う神経障害	3
	結節性動脈炎に伴う神経障害	5
	肥厚性硬膜炎	1
脳生検	クロイツフェルトヤコブ病	1
硬膜生検	肥厚性硬膜炎	1
皮膚	アミロイドーシス	1
	計	61

生検所属内訳

	検体数
金沢大学附属病院神経内科	31 例
金沢大学附属病院他科	7
石川県立病院	8
国立金沢病院	2
金沢社会保険病院	1
小松市民病院	1
能登総合病院	3
市立砺波総合病院	2
厚生連高岡病院	2
福井県立病院	1
福井済生会病院	3
計	61

[3] 症例検討会・各種カンファレンス

(1) 2003 年症例検討会

日付		題名	疾患名 (疑い例を含む)	担当
1月14日	63M	右上下肢の感覚障害の1例	Cerebral infarction	松本
1月21日	76F	痴呆・失語様症状に特異なMRI画像を呈した1例	Creutzfeldt-Jakob disease	古川, 岩佐
2月4日	38M	頸髄萎縮を呈したミエロパチーの1例	Multiple sclerosis	廣畑, 山口
2月25日	50M	下咽頭癌治療後の四肢筋力低下、歩行困難	Radiation myelopathy	島, 山口
3月4日	64M	錐体路徴候を伴ったPD兄弟例	Parkinson's disease	能登, 松本
3月18日	53M	下肢遠位筋優位の障害を呈したSPMA	Spinal progressive muscular atrophy	坂尻
3月25日	52F	進行性のpatchyな感覚障害および筋力低下をきたしている症例	Multiple mononeuropathy associated with Sjögren syndrome	池田篤, 山口
4月1日	31F	EBV感染後に発症した急性小脳失調症の1例	Acute cerebellar ataxia	古川, 岩佐
4月8日	58F	MJD, SCA6が否定された家族歴のあるcerebellar ataxiaの1例	Spinocerebellar atrophy	廣畑, 松本
4月15日	60M	睡眠覚醒障害を伴った軽度認知障害の一例	Front temporal dementia	野口, 松本
4月22日	50F	MPO-ANCA 陽性の多発性脳神経炎の一例	Cranial neuropathy due to MPO - ANCA related vasculitis	廣畑, 吉田
5月6日	61M	大腿部の筋萎縮, Vit.B1, Vit.Eの低下を認めたpolyneuropathyの一例	Neuropathy associated with vit.B1 deficiency	大滝, 坂井, 松本
5月20日	76F	重症筋無力症の治療 - 当科の場合 -	Myasthenia Gravis	廣畑, 岩佐
5月27日	68M	MPO-ANCAを認めたpachymeningitisの一例	Pachymeningitis due to Microscopic polyangitis nodosa	古川, 松本
6月3日	50M	SPECTで異常を認めたMNDの一例	Motor neuron disease	大滝, 坂井, 吉田
6月10日	68M	右内頸動脈閉塞に対しSTA-MCA吻合術の適応と考えた脳梗塞の一例	Atherosclerotic cerebral infarction	佐村木, 吉田
6月17日	43F	成人発症のジストニアを呈した一例	L-2 hydroxy glutaric aciduria	佐村木, 駒井
6月24日	15M	日本脳炎ワクチン接種後に発症したADEMの1例	Acute disseminated encephalomyelitis	古川, 駒井

7月 1日	63M	タクロリムス使用中に発症した脳症の一例	Tacrolimus encephalopathy	佐村木, 岩佐
7月 8日	70F	NK cytosisとneuropathyの合併例	NKcytosis with peripheral neuropathy	野口, 吉田
7月 15日	63M	両側声帯麻痺の既往のある血中HTLV-I陽性の痙性体麻痺の一例	Spastic paraparesis of unknown etiology	金井, 大滝, 坂井, 松本
9月 30日	53M	不随意運動、意識障害、眼球運動制限を呈した大酒家の一例	Wernicke encephalopathy	古川, 駒井
10月 7日	59F	頭部MRIにて両側視床病変を呈し、髄液IgG高値を認めた一例	Top of basilar syndrome with Sjögren syndrome	廣畑, 駒井
10月 14日	66F	MM2型のCreutzfeldt-Jacob Disease(CJD)の一例	Creutzfeldt-Jakob disease	野口, 吉田
10月 21日	27M	CMV感染に伴うGBSの1例	GBS	坂井, 松本
10月 28日	21F	Neuro-Behcet病の再発予防に対する一考察	Neuro-Behcet syndrome	佐村木, 岩佐
11月 4日	26M	記憶障害、視力障害を訴えた26才男性、元ボクサー	Punch drunk syndrome	廣畑, 吉田
11月 11日	25M	自律神経障害を来した脳炎の一例	Encephalitis with autonomic neuropathy	佐村木, 岩佐
11月 18日	31F	中枢性肺泡低換気を認めた一例	Idiopathic hypoventilation	坂井, 吉田
11月 25日	67M	ウット®により神経症状を呈したと考えられた一例	Drug intoxication	廣畑, 駒井
12月 2日	62M	PSPとADの合併が疑われた一例	Progressive supranuclear palsy	古川, 駒井
12月 9日	61F	末梢神経障害を伴い頭痛、半盲で発症した大脳皮質病変を有する一例	Polyneuropathy	坂尻
12月 16日	44F	遷延する低K血症の原因	Hypokalemic periodic paralysis	野口, 吉田

(2) CPC / 死亡症例検討会

日付		題名	疾患名 (疑い例を含む)	担当
2003年 5月 13日	64M	亜急性ミエロパチーとATL/Lを合併した一例	Subacute myelopathy with ATL	野口, 駒井
11月 10日	63M	癌性髄膜炎の一例	Meningeal carcinomatosis	池田篤、 佐々木 (第2病理)
12月 13日	76M	MMNが疑われた運動ニューロン疾患の一例	Multiple motor neuropathy	古川, 山口

(3) 生検カンファレンス

年月日	臨床診断	所属	担当医
2003年			
2月11日	Limb girdle muscular dystrophy	福井済生会	安川
2月24日	Spinal progressive muscular dystrophy	石川県立中央病院	坂尻
	MELAS	福井県立中央病院	野口、宮地
3月18日	DM	当院リウマチ内科	駒井、能登
	Limb girdle muscular dystrophy	市立砺波総合病院	白崎、町谷
	Sarcoid myopathy	金沢社会保険病院	岩佐、島
4月1日	DM	当院リウマチ内科	松本、能登
	Periodic paralysis with paramyotonia	当院小児科	松本、池田篤平
	PM	石川県立中央病院	坂尻
	PM	国立金沢病院	新田
7月8日	ALS	厚生連高岡病院	品川
	Inclusion body myositis	当科	古川、松本
	PM	当科	坂井、松本
	Spinal progressive muscular dystrophy	当科	佐村木、岩佐
	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy	石川県立中央病院	内山
10月7日	Autonomic sensory-motor neuropathy	当科	坂井、松本
	PM	当科	佐村木
10月21日	Polyarteritis nodosa	当院皮膚科	松本
	Hypoventilation	当科	坂井、吉田
10月28日	Limb girdle muscular dystrophy	厚生連高岡病院	品川
11月4日	PM	福井済生会病院	森永、岩佐
	PM	小松市民病院	佐竹
11月18日	Vit. B1 deficiency	当科	坂井、松本
12月2日	PM	福井済生会病院	森永、岩佐
12月9日	Polyarteritis nodosa	石川県立中央病院	吉長
	MELAS	石川県立中央病院	坂尻
	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy	当科	廣畑、駒井
	Amyloidosis	石川県立中央病院	吉長
	Oculopharyngeal muscular dystrophy	当科	坂井、松本
	MELAS	市立砺波総合病院	白崎

(4) 臨床神経学セミナー

(神経内科、脳神経外科、神経精神科合同カンファレンス)

日付		タイトル	担当
2003年			
2月24日	66F	肺動静脈瘻を疑ったがシャント部位を特定できなかった奇異性脳塞栓の一例	濱口
3月24日	50M	放射性脊髄症の一例	島, 山口
4月21日	60M	睡眠覚醒障害を伴った軽度認知障害の一例	野口, 松本
5月19日	76M	帯状疱疹罹患中に右上肢脱力を来した一例	佐村木, 吉田
6月16日	43M	側頭部拍動痛で発症したTolosa-Hunt 症候群の一例	佐村木, 駒井
7月14日	68M	肥厚性硬膜炎で発症した顕微鏡的多発血管炎の1例	古川, 松本
9月8日	45F	MCTDによる脳症を疑われた45才女性の一例	坂井, 松本
10月20日	53M	大酒家に生じた脳症の一例	古川, 駒井
11月17日	31F	中枢性肺胞低換気を認めた一例	坂井, 吉田
12月15日	66F	MM2型のCreutzfeldt-Jacob Disease(CJD)の一例	野口, 吉田

(5) もの忘れ外来検討会

日付	検討症例数
2003年	
1月10日	0 例
2月14日	5
3月6日	4
4月18日	5
5月9日	2
6月13日	9
7月4日	6
9月12日	16
10月24日	9
11月7日	1
12月12日	14

(6) 第4回ニューロサイエンスセミナー

平成15年10月17日

1. T Hamaguchi, M Yamada (Kanazawa University)

Surveillance of Prion Disease in Japan: Analysis of 409 Patients with Special Reference to Early Onset Cases.

2. Mark W. Head (National CJD Surveillance Unit, Western General Hospital, Edinburgh,

UK)

Variant Creutzfeldt-Jakob Disease in the United Kingdom.

[4] 教育活動

(1) 神経系疾患系統講義

●2003年度 対象学年：医学部4年生

年月日	タイトル	講義担当者
総論		
4月11日	Neurology入門(1)： Neurologyとは？	山田正仁
4月18日	Neurology入門(2)： 神経診断学入門	山田正仁
4月25日	神経内科の検査(1)： 生物学的検査	駒井清暢
5月 2日	神経内科の検査(2)： 病理学的検査ほか	山田正仁
各論		
5月 9日	神経変性疾患(1)： 錐体外路系疾患・痴呆性疾患	山田正仁
5月14日	神経変性疾患(2)： 運動ニューロン疾患・脊髄小脳変性症	駒井清暢
5月23日	脱髄性疾患、神経系感染症	駒井清暢
5月30日	末梢神経・自律神経系疾患	岩佐和夫
7月 4日	神経筋接合部疾患および筋疾患	吉川弘明
9月 5日	脳血管障害の診断と治療	古井英介 (非常勤講師)
9月12日	神経系の代謝性・中毒性疾患・全身性疾患に伴う神経障害	吉田光宏
9月19日	神経系の発作性・機能性疾患	松本泰子
9月26日	神経疾患の遺伝子診断	沖野惣一 (非常勤講師)
特別講義		
11月14日	神経難病の在宅医療とQOL	福原信義
11月21日	Neurologyの最先端	高守正治

(2) 臨床講義

年月日	タイトル	疾患名
医学部5年生対象 (計12回)		
2003年 4月11日	31 F 熱は下がったのに、ふらふらして歩けない・・・	EBウイルス感染後小脳炎
4月17日	53 F しびれやめまいがよくなったり悪くなったり。	多発性硬化症

4月25日	F	81	どンドン 体の力が抜けていく	重症筋無力症
5月2日	M	69	鼻声が治らない、右肩がやせていく	筋萎縮性側索硬化症
5月16日	F	74	突然右腕が・・・	脳塞栓
5月23日	M	60	コーヒーに砂糖が入れられなくなった日・・・	アテローム血栓性脳梗塞
5月30日	M	43	頭が痛いと思っていたら右目が・・・	トローサハント症候群
6月6日	M	40	風邪だと思ったら・・・	ギランバレー症候群、ミラーフィッシャー症候群合併
6月13日	F	74	手足が思うように動かない・・・	皮質基底核変性症
6月20日	M	63	気がつくとも手すりに手が・・・	脊髄小脳萎縮症
6月27日	F	43	手がふるえて茶碗が持てない・・・	L2 グルタリル酸尿症
7月4日	M	68	激しい頭痛、そして手足の先が・・・	顕微鏡的多発血管炎に伴う肥厚性硬膜炎
医学部4年生対象 (計3回) (2004年3月まで)				
11月7日	F	66	気づいたら生ラーメン、そして一年後・・・	クロイツフェルトヤコブ病
11月14日	F	44	視力低下から始まり、四年間で車椅子が必要となった一女性	多発性硬化症
11月21日	M	62	しゃべりにくい、むせると言ったら、目も・・・	進行性核上性麻痺

(3) 医学部保健学科

2003 年前期 神経病態学講義 (対象：理学療法士・作業療法士課程 2 年)

学生総数 40 名

講義回数 全 13 回

講師 瀧澤泰樹

神経病態学 (対象：理学療法士・作業療法士)

講師 駒井清暢

病態生理学 II (対象：検査技術化学)

講師 駒井清暢

(4) 薬学部演習講義

平成 15 年度金沢大学薬学部医療薬学演習薬物療法検討会

1. 「パーキンソン病」

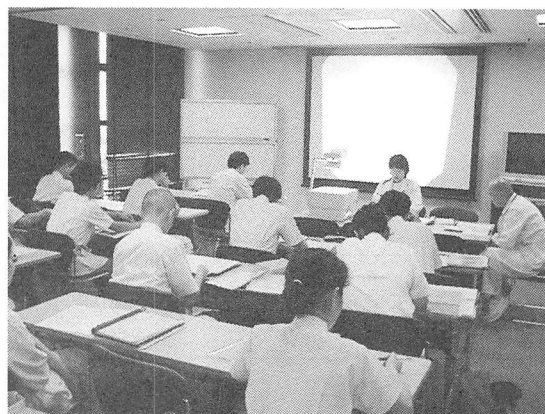
講師 駒井清暢

2. 「アルツハイマー病」

講師 山田正仁

(5) 臨床実習 (BSL)

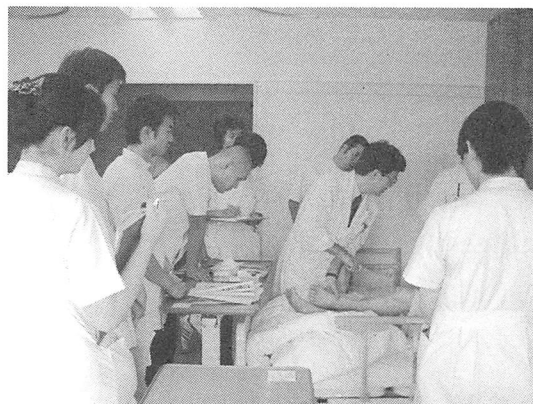
開始日	終了日	グループ数	学生総数
●2002年度冬学期(対象医学部5年生) 2003年1月6日	2003年1月24日	2グループ	13名
●2003年度春学期(対象医学部5年生) 2003年4月7日	2003年7月15日	6グループ	38名
●2003年度秋学期(対象医学部5年生) 2003年9月1日	2003年12月24日	8グループ	52名



病棟カンファレンス (毎週火曜日、8時より)



教授回診 (毎週火曜日)



教授回診 (教授診察と BSL 学生)

(6) 内科診断学実習

2003年春～秋学期（対象医学部4年生）

学生総数96名、総授業数32回

担当：駒井清暢、岩佐和夫、吉田光宏、松本泰子